

【お詫び】患者さんの個人情報（携帯電話番号）の漏洩について

令和2年6月11日

公立大学法人福島県立医科大学附属病院

このたび、当院の医師を名乗る人物からの電話に対し、職員が、患者さんの個人情報を伝えてしまいましたので、下記のとおりお知らせします。

多くの皆様にご迷惑をお掛けしましたことを、深くお詫び申し上げますとともに、再発防止に努めてまいります。

記

1. 経緯

- (1) 6月9日（火）12時頃、当院の医師を名乗る人物から、当院に「患者さんに治療のことで連絡をしなければならないので、電子カルテを見て携帯電話の番号を教えてください」との電話があり、応じた職員（A）は、相手が患者さんの氏名の正確な漢字と読み方、年齢を伝えてきたため、医師本人からの電話だと信じてしまい、9名分の携帯電話番号を伝えてしまいました。
- (2) 同日12時45分頃、再度、当院の医師を名乗る人物から同様の電話を別の職員（B）が受け、対応している間に、不審に思い切電しました。この間、2名分の番号を伝えてしまいました。
- (3) 同日13時00分頃、不審に思った職員（B）が上司に報告している間に、再度、別の職員（C）に同様の電話があり、7名分の携帯電話番号を伝えてしまいました。
- (4) 同様の事例が他にないか他の職員にも確認した結果、職員（A）より6月1日（月）にも当院の医師を名乗る人物から同様の電話があったとの申し出があり、事情を聴取した結果、51名分の携帯電話番号を伝えておりました。
- (5) その後、名乗られた医師本人への確認などを経て、過去に当院に勤務し、現在、当院には勤務していない医師になりすました電話であることが分かり、第三者に患者さんの携帯電話番号が漏洩したことが判明しました。
- (6) 携帯番号を伝えてしまった計69名について詳しく確認した結果、すべてが本学の卒業生であることが判明しました。
- (7) 本件を含め、最近、不審電話が多発していたため、警察署への相談を行っております。

2. 患者さんへの対応

- (1) 携帯電話番号を伝えてしまった患者さんに対し、事情の説明とお詫びを行っております。
- (2) また、患者さんが直接的な被害にあわれていないか、把握に努めております。

3. 再発防止に向けた今後の取組み

- (1) 過去にも、同様の不審な電話がありました。その都度、病院だけではなく大学全体で注意喚起を行ってまいりましたが、再度、全ての教職員に対し事例の共有と注意喚起を行いました。
- (2) 今後は、職場内ミーティングでの定期的な注意喚起を行うほか、情報セキュリティに関する研修会等において個人情報の適正管理に関する研修を強化します。
- (3) また、情報管理体制を見直し、より厳しいルールの方策に着手し、再発防止に努めてまいります。

4. 問い合わせ先

- 公立大学法人福島県立医科大学附属病院医事課
電話024（547）1050